

問 虫歯予防に、フッ化物を含む薬でうがいするフッ化物洗口という行為がある。学校現場でそれを推し進めるには住民との合意形成が重要になると考える。先進地域の事例を十分に調査・研究して推し進めていってほしいと思うがどのような認識か。

町長 病気は口から入るという。歯磨きは健康の源であるが、フッ化物洗口に関しては、国の方針が出るまでは各保育園、各学校にまかせる。

教育長 フッ化物洗口には賛否両論あり、他の市町村、県教育庁の指導なども注視しながら対応していく。

民生部長 行政として現時点ではフッ化物での虫歯予防についてはまだ賛否両論があるという認識である。

問 全国、沖縄県の小中学校でのフッ化物洗口の取組状況はどうか。

教育部長 全国では小学校19・4%、中学校8・1%、沖縄県

歯の健康について 認識は

答 口から病気が入ることから歯磨きは健康の源である



大城 勝 議員

では小学校4・4%、中学校3・2%である。

問 本町の保育園における虫歯予防のフッ化物洗口の現状はどうか。

民生部長 認可保育園13園中4園で実施している。それぞれの園の判断において保護者の了解を得た園児は実施している。

ちむぐくる館の運動器具の整備状況を問う

問 ちむぐくる館の運動器具の座椅子部分がすり切れるなどの摩耗が激しい。安全に使用出来るよう十分な整備が必要だがどうか。

副町長 運動器具が快適に使用できるように対応する。

宮平交差点の信号機整備を

問 国道329号線宮平交差点は交通量が多く、右折の際、非常に危険である。信号機の整備ができないか。

副町長 与那原署へ右折信号設置の要請を行った。



宮平交差点。交通量が多く改善が求められる

黄金ホールでのコンサートなどの誘致を

問 文化行政の観点から黄金ホールでのイベントを積極的に誘致してはどうか。

教育長 多くのイベント、コンサートを開催しており、今後とも継続して行えるよう関係機関と連絡調整していく。